

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	災害対策 災害時に、ホームに必要な量の飲料水や非常用食糧、その他物品の備蓄、また避難先での備蓄についても整備しておく必要がある。	「非常災害時に必要な備品や備蓄を常に準備しておく事で非常時でも安心した生活が送れる」	ホーム内組織の防災対策委員会を中心に備蓄の重要性の研修を開催。(法人内に熊本震災時の事例研修に参加した職員がいるので協力要請し復命研修実施。) 必要な備品や備蓄は理解出来たので、早期にマニュアルを作成(予算化)し順次整備を進めていく。 また、避難先である事業所とも連携を図り備蓄を保管できるスペース確保など整備に努めていく。 ※備蓄水については、避難先の事業所に設置してある自動販売機を災害支援型で活用できるかを確認中。	1ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。